

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		妊婦・乳幼児健康教室事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	010203000338
政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	040401
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進		主要事業		健康推進課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり		市長マニフェスト			
	施策名	02 健康づくりの推進		未来PJ事業		グループ 母子	
	手段名	03 ③母子支援体制の充実		合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	04	01	01	03	00	母子衛生事業
法令根拠	母子保健法						単年度繰返し (年度~)
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
①マタニティクラス：対象は出産を控えた夫婦。周知方法は個人通知・母子健康手帳交付時に「マタニティクラス」のちらし、健康カレンダー、広報、ホームページ等で参加のPRをしている。教室は年6回マタニティクラスAとマタニティクラスBに分け分娩予定日ごとに開催。内容はマタニティクラスAは赤ちゃんのお風呂の入れ方、妊娠シュミレーション(夫に体験してもらう)、妊娠中の栄養についてである。マタニティクラスBは助産師の話、マタニティヨガを実施している。	マタニティクラス：事業内容の企画検討。対象者の抽出及び個別通知。当日の実施。 実績報告書の作成。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
マタニティクラス ・対象者への個人通知 ・当日の運営(妊娠、出産に関する健康教育)	マタニティクラスの開催数	回	3.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
マタニティクラス： 妊婦とその家族	出産する夫婦(年次)	組	95.00	207.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
妊娠・出産・育児等の知識を学ぶとともに、不安の軽減ができる。	参加して不安が解消できた人の割合(アンケート)	%	91.30	91.00	100.00	100.00	100.00
	参加者数(延)	人	0.00	39.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	18	78	57
	事業費計(A)	千円	18	78	57	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	125.00	71.00	125.00	
	人件費計(B)	千円	366	208	366	
トータルコスト(A)+(B)		千円	384	286	423	

29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)	
01 報酬	8	11 需用費	57
11 需用費	70		
	合計	78	合計
			57

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	妊婦・乳幼児健康教室事業	事務事業No.	10203000338	所属課	健康推進課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	<p>パパ・ママクラス(現: マタニティクラス)については、S41年に母子保健法が施行され、それに基づき、保健センター設置当時より妊婦を対象に開始し、現在に至る。育児方法や出産の情報の多様化に伴い内容も検討をかさね、夫の参加も取り入れた。H11年男女協働参画基本法が施行され、夫婦で子育てができる環境整備を図るようになった。乳幼児健康教室については、H22年度より子育て支援センターと協力して実施している。</p>
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>参加した妊婦より土・日の開催や妊娠時期(初期、中期、後期)に合わせ教室の運営をして欲しいと要望あり。また、参加医療機関によっては妊婦教室を行っていない所もあり、市の事業に参加できた事で、育児に勇気をもって取り組めると感想があった。</p>
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	<p>平成29年度よりパパ・ママクラスを2コースに分け、半日ずつ6日間の開催とする。対象もママだけで参加しやすいコースも構成し、教室名もマタニティクラスへ変更する。変更後、教室毎にアンケートを行い、事業の見直し、改善を行っていく。</p>
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教室に参加することで、安心して妊娠・出産・育児ができるようになることは、子育て支援に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市で行うことで、参加者が妊娠・出産・育児についての知識を学ぶとともに、母親同士の交流や仲間づくりの機会にもなる。また、妊娠中から早期にかかわることで、虐待防止につながる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 参加率を上げる必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教室に参加することで妊婦や子育て中の保護者の交流の場となり、出産や育児に対する不安の軽減にもつながっている。また母親学級(マタニティクラス)を開催していない医療機関もあるので子育てへの影響がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない マタニティクラスについては、統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない マタニティクラスは雇いあげ助産師で1回1時間依頼しているのみであるので削減余地はない。また、健康教室は各関係機関の経費で実施しているため、効率的な人員で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各クラス対象者に通知にてマタニティクラスの周知をしている

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成29年度のマタニティクラスは、参加者より時間が長く体力を使ってしまう、予定を空けるのが大変との声がかかれていたため、年6回、コースをAとBに分け半日ずつで実施した。実施内容に関しては、医療機関で実施されていない育児体験等ができる内容にしており、特に沐浴や助産師の講話、マタニティヨガは妊婦に好評である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>